



2020年11月10日

各位

会社名 株式会社マツオカコーポレーション  
代表者名 代表取締役社長CEO 松岡 典之  
(コード番号: 3611 東証市場第一部)  
問合せ先 経営企画部 企画・IR課 深川 道宏  
(TEL. 03-5652-8895)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年8月12日の2021年3月期第1四半期決算発表時に開示した2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	49,000	2,400	2,100	2,000	199.07
今回修正予想 (B)	50,000	3,200	3,500	2,900	288.63
増減額 (B-A)	1,000	800	1,400	900	—
増減率 (%)	2.0	33.3	66.7	45.0	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	57,112	2,603	2,523	1,175	117.33

#### 2. 修正の理由

売上高については、受注・生産の状況は共にほぼ想定どおり推移しており、前回発表予想を若干上回る見込みであります。

営業利益については、布製マスクや感染対策防護服(アイソレーションガウン等)の製造等により操業度が維持されたこと及びコロナ禍における経費削減による販売費及び一般管理費の低減により、前回発表予想を上回る見込みであります。なお、今期上半期において、実勢為替レートが想定為替レート(1ドル=105円)より円安に推移したことによる仕入コスト増加の影響を織り込んでおります。

経常利益は、営業利益が想定を上回る見込みであることに加え、上記の円安による仕入コストの増加が為替予約によるヘッジ効果により概ね相殺されて為替差損益が好転し、さらには海外子会社において輸出奨励金が支給される見込みであること等から、前回発表予想を上回る見通しであります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益についても、利益の増加により法人税等の税金費用が増加等するものの、前回発表予想を上回る見込みであります。

以上